



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月31日

上場会社名 フルサト工業株式会社  
 コード番号 8087 URL <http://www.furusato.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 古里 龍平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤井 武嗣

TEL 06-6946-9605

四半期報告書提出予定日 2018年11月7日

配当支払開始予定日

2018年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	51,343	8.3	1,677	37.7	1,882	36.5	1,236	42.6
2018年3月期第2四半期	47,418	7.6	1,217	3.9	1,378	1.7	867	5.6

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,034百万円 (18.2%) 2018年3月期第2四半期 1,264百万円 (33.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	85.29	
2018年3月期第2四半期	59.83	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	64,563	39,495	61.2	2,724.41
2018年3月期	63,283	39,085	61.8	2,696.12

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 39,495百万円 2018年3月期 39,085百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		5.00		43.00	48.00
2019年3月期		5.00			
2019年3月期(予想)				51.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,300	5.5	3,700	18.4	4,100	18.3	2,700	16.8	186.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	14,574,366 株	2018年3月期	14,574,366 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	77,473 株	2018年3月期	77,367 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	14,496,936 株	2018年3月期2Q	14,497,238 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、米中貿易摩擦や世界の株価動向など、不安材料も少なくない中であって、全体的には順調な推移が続いているように見受けられます。

設備投資は増加し、工作機械受注統計も内需を中心に前年増となるなど、生産は緩やかな増加が続いております。建設業界は依然として好調な中であって、人材不足や資材不足のため鉄骨加工量は概ね横ばいの状態が続いております。

そのような環境の下、中期経営計画『Design the Future 2020』の中間年にあたる今年度は、最終年度の目標を達成するための重要性を認識し、施策の確実な進捗を意識した活動を行っております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は513億4千3百万円（前年同期比8.3%増）と、第1四半期連結累計期間に続き全セグメントで増収となりました。売上総利益は利益率の上昇により72億3千5百万円（同11.3%増）、販売費及び一般管理費は同5.3%増となったことから、営業利益は16億7千7百万円（同37.7%増）となりました。経常利益は18億8千2百万円（同36.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億3千6百万円（同42.6%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

## (機器・工具セグメント)

鉱工業生産指数の改善が続く中、工業機器事業は前年同期比4.4%増、自動車向け機械工具事業は同15.2%増となりました。住宅設備機器事業は同0.4%の微増となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は同3.6%増の242億8千3百万円となり、営業利益は同31.4%増の5億9千7百万円となりました。

## (機械・設備セグメント)

工作機械受注統計の内需受注が増加する中、工作機械事業は同10.8%増、FAシステム事業は同35.8%増となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は同14.0%増の105億6千2百万円となりましたが、販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより、営業利益は同15.7%減の1億6千万円となりました。

## (建築・配管資材セグメント)

建築需要が底堅く、鉄鋼価格の上昇が続く中、鉄骨建築資材事業は同14.4%増、配管資材事業は同4.5%増となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は同12.1%増の164億9千6百万円となり、営業利益は同46.0%増の8億6千万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億8千万円増加し、645億6千3百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加5億2千7百万円、受取手形及び売掛金の増加2億6千4百万円、電子記録債権の増加4億2千2百万円、有価証券の減少2億円等により流動資産が9億9千6百万円増加したこと、及び有形固定資産の増加5億1千6百万円、投資その他の資産の減少2億3千万円等により固定資産が2億8千3百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ8億7千万円増加し、250億6千8百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加4億2千6百万円、電子記録債務の増加3億1千9百万円、未払法人税等の増加1億4千万円等により流動負債が9億9千2百万円増加したこと、及び長期借入金の減少5千万円、繰延税金負債の減少1億3千2百万円等により固定負債が1億2千1百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4億9百万円増加し、394億9千5百万円となりました。この主な要因は、剰余金の配当により6億2千4百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により12億3千6百万円増加、及びその他有価証券評価差額金が1億9千万円減少したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動における資金の増加、及び投資活動、財務活動における資金の減少により、期首残高に比べ3億2千7百万円増加し、116億3千9百万円(前年同期は101億9千9百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、16億4千9百万円(前年同期は使用した資金5億2千4百万円)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益19億5百万円、減価償却費2億7千9百万円、売上債権の増加額8億8千3百万円、仕入債務の増加額7億3千7百万円、法人税等の支払額5億7千9百万円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、6億4千9百万円(前年同期は使用した資金4億6千万円)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出5億9千7百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、6億7千2百万円(前年同期は使用した資金4億5千3百万円)となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出5千万円、配当金の支払額6億2千2百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績と今後の見通しを勘案した結果、2018年5月7日に公表いたしました2019年3月期の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,112,150	11,639,185
受取手形及び売掛金	24,810,510	25,074,705
電子記録債権	3,196,343	3,619,283
有価証券	200,000	—
商品及び製品	3,737,181	3,723,226
仕掛品	310,638	287,983
原材料及び貯蔵品	140,627	133,456
その他	778,070	846,311
貸倒引当金	△12,956	△54,708
流動資産合計	44,272,565	45,269,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,831,013	4,662,447
機械装置及び運搬具(純額)	822,171	912,379
土地	7,203,691	7,304,033
建設仮勘定	601,379	39,880
その他(純額)	171,238	227,398
有形固定資産合計	12,629,494	13,146,139
無形固定資産	204,608	201,867
投資その他の資産		
投資有価証券	4,430,343	4,136,877
退職給付に係る資産	770,568	783,475
その他	1,063,684	1,256,285
貸倒引当金	△87,888	△230,128
投資その他の資産合計	6,176,708	5,946,508
固定資産合計	19,010,810	19,294,516
資産合計	63,283,376	64,563,959

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,317,154	18,743,874
電子記録債務	1,852,665	2,171,727
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	642,064	782,236
賞与引当金	595,838	630,403
役員賞与引当金	25,677	12,840
環境対策引当金	33,000	—
固定資産撤去費用引当金	16,503	—
その他	1,555,501	1,689,381
流動負債合計	23,138,404	24,130,463
固定負債		
長期借入金	125,000	75,000
繰延税金負債	764,644	632,582
退職給付に係る負債	45,070	49,336
その他	124,577	181,129
固定負債合計	1,059,291	938,048
負債合計	24,197,696	25,068,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	5,997,217	5,997,217
利益剰余金	25,999,618	26,611,678
自己株式	△83,785	△83,975
株主資本合計	37,145,464	37,757,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,784,457	1,593,908
繰延ヘッジ損益	△495	1,097
退職給付に係る調整累計額	156,254	143,106
その他の包括利益累計額合計	1,940,216	1,738,113
純資産合計	39,085,680	39,495,447
負債純資産合計	63,283,376	64,563,959

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	47,418,587	51,343,091
売上原価	40,920,141	44,107,527
売上総利益	6,498,446	7,235,564
販売費及び一般管理費	5,280,577	5,558,151
営業利益	1,217,868	1,677,412
営業外収益		
受取利息	2,227	2,633
受取配当金	35,334	39,056
仕入割引	255,771	266,275
受取賃貸料	21,216	23,953
その他	11,251	43,615
営業外収益合計	325,800	375,534
営業外費用		
支払利息	435	361
売上割引	145,458	152,386
賃貸収入原価	620	2,379
その他	18,314	15,812
営業外費用合計	164,828	170,939
経常利益	1,378,840	1,882,008
特別利益		
投資有価証券売却益	9,782	18,982
環境対策引当金戻入額	—	4,725
特別利益合計	9,782	23,707
特別損失		
固定資産撤去費用引当金繰入額	28,000	—
特別損失合計	28,000	—
税金等調整前四半期純利益	1,360,623	1,905,716
法人税、住民税及び事業税	498,508	712,375
法人税等調整額	△5,206	△43,087
法人税等合計	493,302	669,287
四半期純利益	867,321	1,236,428
親会社株主に帰属する四半期純利益	867,321	1,236,428

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	867,321	1,236,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	416,338	△190,548
繰延ヘッジ損益	1,046	1,593
退職給付に係る調整額	△19,855	△13,148
その他の包括利益合計	397,529	△202,103
四半期包括利益	1,264,851	1,034,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,264,851	1,034,325
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,360,623	1,905,716
減価償却費	366,119	279,917
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,837	△12,837
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,577	4,266
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△50,542	△12,906
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,128	34,565
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,146	183,992
受取利息及び受取配当金	△37,561	△41,690
支払利息	435	361
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,782	△18,982
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,018,615	△883,324
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,101	43,780
仕入債務の増減額 (△は減少)	△736,071	737,412
その他	△40,981	△33,909
小計	△165,462	2,186,360
利息及び配当金の受取額	39,847	43,369
利息の支払額	△270	△387
法人税等の支払額	△398,595	△579,971
営業活動によるキャッシュ・フロー	△524,482	1,649,370
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△454,519	△597,686
固定資産の撤去に伴う支出	—	△16,503
投資有価証券の取得による支出	△6,480	△6,993
投資有価証券の売却による収入	23,669	43,142
差入保証金の差入による支出	△7,855	△61,657
その他	△15,178	△10,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460,364	△649,924
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△125,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△423	△189
配当金の支払額	△628,525	△622,221
財務活動によるキャッシュ・フロー	△453,948	△672,411
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,438,795	327,034
現金及び現金同等物の期首残高	11,637,850	11,312,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,199,054	11,639,185

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,445,675	9,263,126	14,709,785	47,418,587	—	47,418,587
セグメント間の内部 売上高又は振替高	563,785	137,239	4,351	705,377	△705,377	—
計	24,009,461	9,400,365	14,714,137	48,123,965	△705,377	47,418,587
セグメント利益	454,850	190,610	589,154	1,234,615	△16,746	1,217,868

(注)① セグメント利益の調整額△16,746千円には、セグメント間取引消去△13,565千円、たな卸資産の調整額△4,378千円、固定資産の調整額1,197千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)①	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)②
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,283,703	10,562,908	16,496,479	51,343,091	—	51,343,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	515,149	248,984	6,978	771,111	△771,111	—
計	24,798,852	10,811,893	16,503,458	52,114,203	△771,111	51,343,091
セグメント利益	597,895	160,765	860,070	1,618,731	58,681	1,677,412

(注)① セグメント利益の調整額58,681千円には、セグメント間取引消去62,629千円、たな卸資産の調整額△5,145千円、固定資産の調整額1,197千円が含まれております。

② セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。